

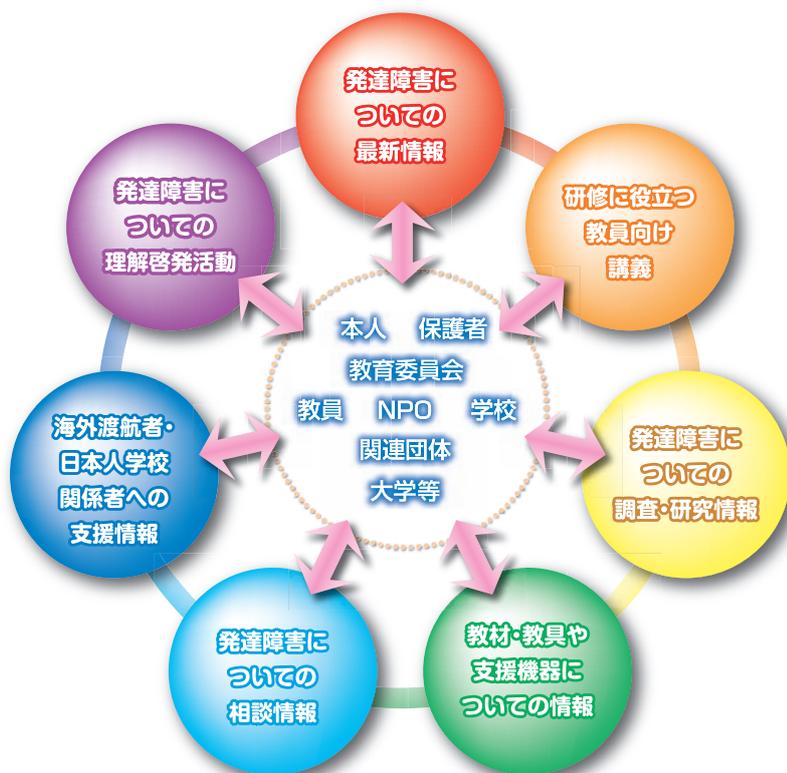
発達障害教育情報

発達障害に関する様々な情報を調査・収集・整理し、Webサイト等を通じて広く情報普及活動に取り組んでいます。その中で、教員向け研修講義については、コンテンツを充実させて提供するとともに、教育関係機関と連携を図り、校内研修等における「研修講義」の活用を進めています。なお、全国の教育関係機関や厚生労働省国立障害者リハビリテーションセンター内に設置された発達障害情報センター等、関係諸機関との連携及び調整も行っています。

■発達障害教育情報センター

平成20年8月27日に発達障害教育情報センターとしてWebサイト (<http://icedd.nise.go.jp/>) を開設しました。

Webサイトでは、図のように本人や保護者、教育関係者、大学、学会、NPO、関連団体などと連携し、7つの機能を中心に情報を収集し、発信しています。



- 発達障害の気づき、理解、対応の仕方等についての情報提供
- 発達障害のある子どもの理解・支援・指導についての講義コンテンツの作成、配信
- 発達障害のある子どもの教育に活用されている教材・教具や支援機器についての紹介
- 発達障害のある子どもの特性に応じた研究や文献、研究会等の情報提供
- 発達障害に関する国の施策や法令、事業等についての情報提供
- 国内の相談機関や、海外渡航者へ向けた日本人学校等に関する情報の提供

全ての国民が発達障害を理解し、共に手を携えるノーマライゼーション社会を目指した理解・啓発を行っていきます

Webサイトの構築に当たっては、使いやすく、親しみやすい構成とデザイン、最大限のアクセシビリティの確保、ユーザーのニーズを把握するアンケートの実施等に留意しています。

また、Webサイトによる情報提供を主としながら、全国の教育関係機関と連携を図り、双方向の情報交換にも取り組んでいます。現在は、「研修講義」を利用した双方向的な校内研修等の在り方や、都道府県等の教育委員会・教育センターとの情報の収集・発信等について検討しています。今後は、これらの情報を整理し、提供する情報の充実を進めていきます。

なお、厚生労働省国立障害者リハビリテーションセンター内に設置されている発達障害情報センターとも連携しつつ、国民全体の理解と支援を得られるよう、広範な関係者への情報提供を目標としています。

